

不思議の国のアリス展

2019年7月13日（土）～9月8日（日） 松本市美術館

休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日。ただし8月は無休）

開館時間：9:00～17:00（入場は閉館の30分前まで）

時代も、海も越えて、なぜ少女アリスの夢の冒険は、ひとびとを魅了し続けるのか？

名作『不思議の国のアリス』が、英国の作家ルイス・キャロルによって世に送り出されてからすでに150年以上が過ぎました。現在までに170もの言語に翻訳され、初版から途切れることなく出版され続けている世界的ベストセラーのひとつです。少女アリスが迷い込む不思議な世界と、そこに次々に登場する個性的なキャラクターが繰り広げる奇想天外なストーリーには、キャロルの言葉選びのセンスが散りばめられ、今も多くの人々に愛されています。本展は『不思議の国のアリス』の原点や、それに続く作品『鏡の国のアリス』の二つの物語を軸に、さまざまな分野に影響を与え続けるアリスのお話の魅力を、日本初公開を含む貴重な作品とともに紹介します。



アーサー ラッカム 《ニセウミガメ》
©The Korshak Collection

展覧会公式ホームページ <http://www.alice2019-20.jp>

★公式SNS Twitter/Instagram/Facebook : #松本アリス展

（この展覧会は、神戸、松本、横浜、福岡、静岡、名古屋、新潟を巡回予定です）

主催：SBC信越放送、松本市美術館

共催：信濃毎日新聞社、MGプレス

後援：日本ルイス・キャロル協会、ブリティッシュ・カウンシル、市民タイムス

協力：SCRAP、聖徳大学・聖徳大学短期大学部、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン、マクミラン社、武蔵野興業、松本パルコ、イオンモール松本

企画：東映

観覧料（料金はいずれも税込価格）

【取扱プレイガイド】松本市美術館、セブンチケット、ローソンチケット、本展覧会公式ホームページなど

区分	一般	高校・大学生	中学生以下	備考
個人	1,200円	800円	無料	※団体料金は松本市美術館のみの取扱い ※団体料金は20名以上に適用 ※障害者手帳携帯者とその介助者1名無料 ※前売券の販売期間は4月27日～7月12日 ※再入場はできません ※本展覧券でコレクション展示も観覧できます
団体	1,000円	600円		
前売	1,000円	600円		

【気になる展示の内容は？】

◆◇第1章 始まりの話—アリス誕生

1862年のある夏の午後、キャロルと友人、そしてお気に入りの少女アリス・リデルとその二人の姉妹はボート遊びに出かけます。そのとき、三人姉妹にせがまれてキャロルは「アリス」を主人公にしたお話を即興で語って聞かせます。アリスは「今日のお話を本に書いて」とおねだりし、キャロルは自筆の挿絵を入れた本をつくってアリスに贈ります。周囲から出版するよう勧められたキャロルは、人気挿絵画家ジョン・テニエルに挿絵を依頼して、1865年に『不思議の国のアリス』として出版したのです。

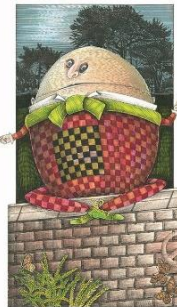
第1章では、初版本など貴重な資料をはじめ、テニエルが描いた『不思議の国のアリス』『鏡の国のアリス』の挿絵の原案（日本初公開）などをご紹介します。



左) チャールズ・ラウウィッジ・ドッドソン 《アリス・リデルの肖像》(複製) From The New York Public Library

右) ジョン・テニエル 『不思議の国のアリス』挿絵のための下絵《「いたい、わたしはこれからどうなるんだろう」》 John Tenniel, "What will become of me!" The Rosenbach, Philadelphia

◆◇第2章 アリスの物語—不思議の国への招待



左) チャールズ・サントレー 『不思議の国のアリス』第5章より《イモ虫からの忠告》©2017 Charles Santorel
右) ジョン・ヴァーノン・ロード 『鏡の国のアリス』第6章より《ハンプティ・ダンプティ》©John Vernon Lord

『不思議の国のアリス』と『鏡の国のアリス』は、それぞれ12の章からなっています。想像力豊かでおしゃまな少女アリスとその前に現れるキャラクターの数々——シロウサギ、チェシャネコ、ハンプティ・ダンプティ、など——が繰り広げる奇想天外なお話は、今も世界中で愛されています。

第2章では、その二つのお話を、現在世界で活躍する7人のアーティストの描き下ろし

作品によってたどります。お話を読んだ人もまだ読んだことのない人も、テニエルの絵とはまた違った新しいアリスの世界から、素敵な夢の世界をお楽しみください。

★★第2章のみ、撮影可能ゾーンになる予定です。

◆◇第3章 アートの国—世界が愛する永遠のアリス

『不思議の国のアリス』の世界観は、多くのクリエイターたちが創作意欲を刺激され、過去には映画、アニメーション、舞台などもつくられました。

第3章では、アーサー・ラッカム、エリック・カール、サルバドール・ダリ、マリー・ローランサン、草間彌生、清川あさみ、山本容子など…海を越え、時を超えてアリスの世界を愛した多彩なジャンルのアーティストによるアリス関連作品をご紹介します。絵画、映像、立体作品など、さまざまなかたちで表現されたアリスの世界をお楽しみください。



上) エリック・カール 《チェシャネコいもむし》
"Cheshire CAT-erpillar" created by Eric Carle, 2018.
Image reproduced with permission from the Eric Carle Studio.
左) 草間彌生 《こんにちは》1989年 松本市美術館蔵
右) 清川あさみ 《涙の池》©Asamikiyokawa

展示室内には「リアル脱出ゲーム」、館内には撮影スポットなどを設置予定。いろいろな角度から楽しめる展覧会です。ご来場をお待ちしております。

【注目のコラボレーション】

◆◇特別先行前売券×ハードロックカフェ◆◇

この特別先行前売券でしか入手できない、ハードロックカフェオリジナルピンバッジ付きの前売券を数量限定で販売！数量に達ししだい、販売は終了します。

【販売期間】2019年4月20日～7月12日 ※ピンバッジ単独の販売はありません。

●料金：2,800円（限定100個）

●取扱プレイガイド：セブンチケット（セブンコード075-557）※松本市美術館での取扱いはありません



NEW ◆◇グッズ付き観覧券×ヨッシースタンプ◆◇

人気のクリエイター「ヨッシースタンプ」とコラボしたオリジナルデザインの子ケツトクリアファイル付き観覧券を販売中。前売券、当日券ともこのクリアファイルに入れてお楽しみください。

【販売期間】販売中～9月8日

※ただし、チケットクリアファイルの交換は展覧会会期中のみとなります。

【前売券】一般1,500円、高校大学生1,100円 【当日券】一般1,700円、高校大学生1,300円

●取扱プレイガイド：ローソンチケット（Lコード33354）※松本市美術館での取扱いはありません



©YOSISTAMP

◆◇「水曜日のアリス」×「不思議の国のアリス展」◆◇

展覧会オリジナルグッズをはじめ、『不思議の国のアリス』の世界をテーマにしたお菓子とアクセサリ、雑貨のコンセプトショップ「水曜日のアリス」とのコラボ商品、関連書籍、輸入雑貨など、500以上ものアイテムが並びます。見るだけでも楽しいミュージアムショップへぜひ、お立ち寄りください。

◇リアル脱出ゲーム「不思議の国からの脱出」◇

株式会社SCRAPが企画制作し、全世界で400万人を動員する「リアル脱出ゲーム」とのコラボレーションが実現！

専用のキットを使って次々と現れる謎や暗号を解き明かし、『不思議の国』から脱出しよう！

●謎解きキット1,500円（税込）

●キットの販売時間9:00～14:00

◆特集展示「草間彌生—魂のおきどころ」開催中◆

松本市出身の世界的芸術家・草間彌生。平成30年度に松本市美術館が新たに収蔵した作品のおひろめを兼ねて、5月21日から拡大展示中です。この展示は、「不思議の国のアリス展」観覧券でご覧いただけます。

●「不思議の国のアリス展」×5HORN●

会期中、松本パルコのレストラン「5HORN」では「不思議の国のアリス展」のコラボレーションメニューを提供。アリスの世界観を表現した素敵なスイーツやドリンクで優雅な一時をお過ごしください。

美術館へのアクセス

松本市美術館の駐車場には限りがあります。お越しの際は公共交通機関をご利用ください。皆さまのご協力をお願いします。また本件の周知にもご協力くださいますようお願いします。

◇松本バスターミナルからアルピコ交通バス・横田信大循環線5分 [松本市美術館] 下車すぐ ◇JR松本駅からタウンスニーカー(市内周遊バス)東コース14分 [松本市美術館] 下車すぐ ◇JR松本駅または松本バスターミナルから徒歩12分